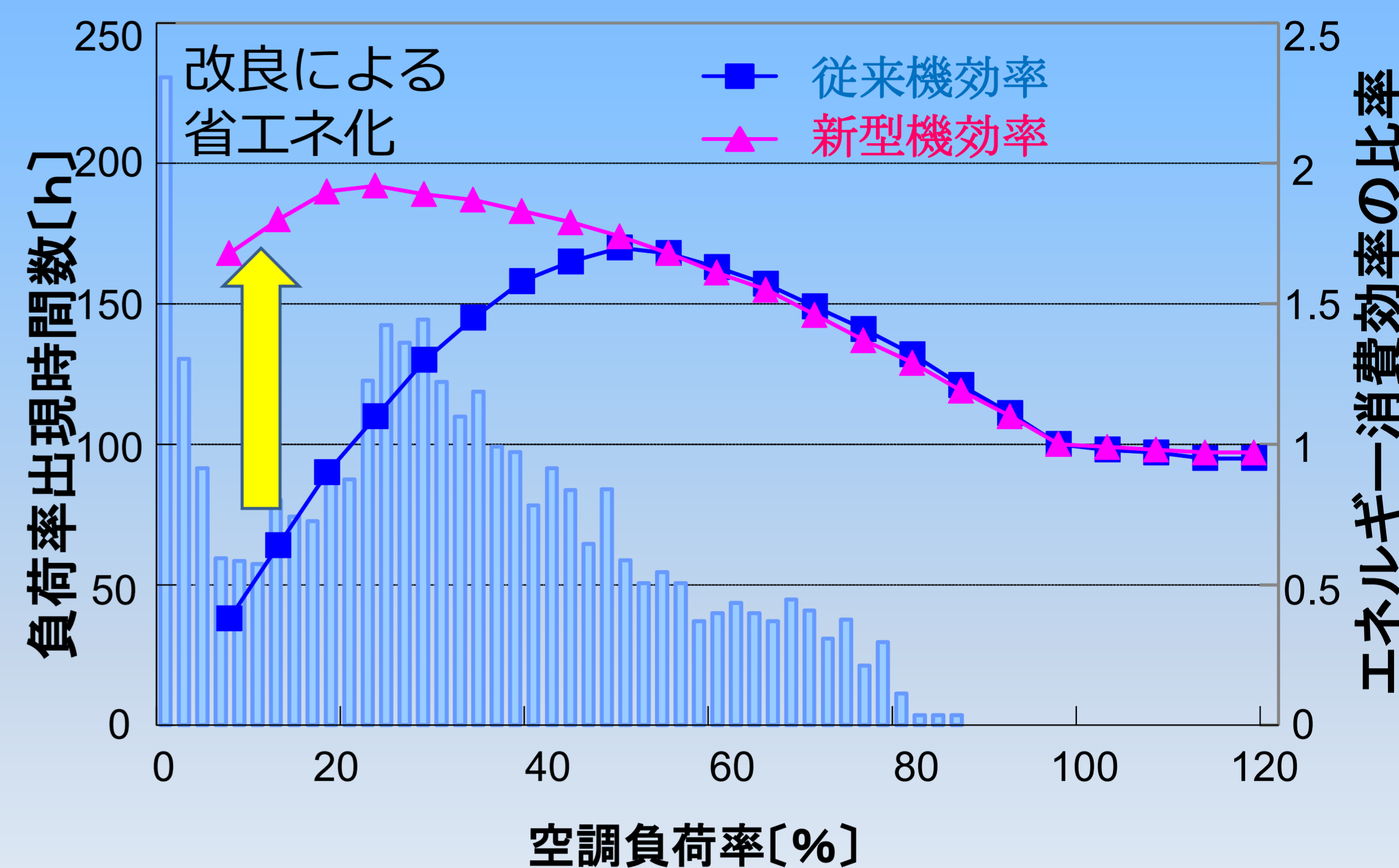


ヒーポンらぼウエストの空調機性能評価

空調機の使用実態に合わせた性能評価が可能です。



業務用ビルに設置されたエアコンの運転状況

※空調負荷率とエネルギー消費効率は、冷房定格時をそれぞれ100,1として評価。

背景・目的

- 空調運転時間帯の空調機の出力は、常に100%の定格運転ではなく、天候やお客さまの使い方によって変動します。当社ラボは実際の運転状態を再現した空調機の性能評価ができるので、お客さまの省エネ化に直結する機器開発に寄与しています。

特長

- 空調機の性能は一般にエネルギー消費効率で表され、カタログは単一条件で算出するエネルギー消費効率 (COP)、8条件から算出する通年エネルギー消費効率 (APF) が表記されています。
- 加えて当ラボでは実際に運転される様々な条件下での性能評価ができます。

用途

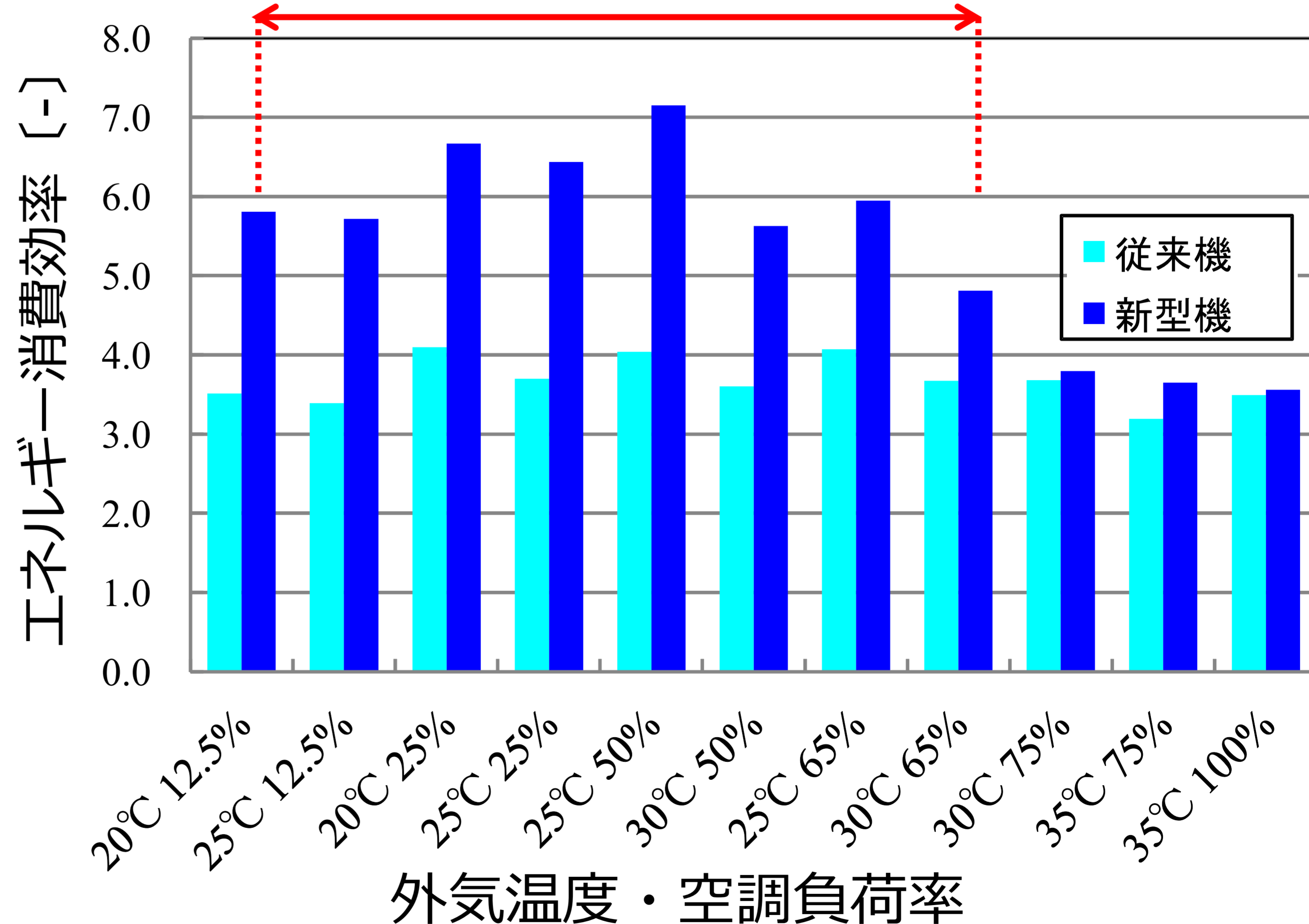
- お客さま ⇒ 新築やリニューアルでは省エネ効果が高い機器をご提案。
- メーカーさま ⇒ お客さまの使い方に応じた機器改良に必要なデータ取得可能。
- 工業界さま ⇒ 空調機性能評価の技術向上に貢献。

試験風景と結果



室外機の性能試験

当社ラボデータ提供による機器改良例 新型機では低負荷運転領域の性能を大幅に改善



従来機に比べて新型機のエネルギー消費効率が向上

研究者のひとこと

当社では多様な条件下でのビル用マルチエアコンの性能評価で得られた結果を元に、メーカーに空調機の性能向上をうながし、お客さま設備の省エネ提案に貢献しています。